

連休中、休業要請にご協力いただいている事業者の皆さん、また、自宅にとどまり、外出自粛をしていただいている皆さん、ご協力ありがとうございます。

ふるさと島田を出て、都会で働いておられる皆さん、学生の皆さん、帰省を思いとどまっていたいただきありがとうございます。ふるさと島田は、皆さんを忘れてはいません。けれど今、この新型コロナの時にちょっとだけ友人や家族と会うのは我慢してください。その代わりに、電話やオンラインで皆さんの声を届けてください。

さて本日は、政府の「緊急事態宣言」の延長を受け、島田市としての対応を3点、皆さまにお伝えいたします。

まず1点目は、事業者の皆さんへの休業要請についてであります。

当市では当初の予定通り、市独自で行っている飲食店やホテル、旅館などへの休業要請は5月6日までといたします。

事業者の皆さんは、三密を避け、十分な座席間隔やマスク・消毒などに配慮していただき、段階的に経済活動を再開してください。

なお、カラオケボックスやパチンコ店などの遊興、遊技施設や、スポーツクラブなどの運動施設については、静岡県が引き続き5月7

日から 17 日までの間、休業要請と協力金 20 万円の支給をおこないます。

2 点目は施設の再開の方針についてです。

5 月 7 日以降、公園・図書館・博物館などの施設につきましては、国、県の実施方針などをうけ、感染防止対策が整った施設から、順次再開してまいります。また、川根温泉などの観光施設につきましては、調整がつき次第、順次営業を再開してまいります。

詳しくは、市のホームページをご覧ください。

3 点目は学校の再開についてです。

島田市は 5 月 20 日まで小中学校の休業をお知らせしておりますが、21 日以降については、5 月 14 日に開催される国の専門家会議の結果や県の対応などを受け、島田市としての方針を決めていく予定であります。感染予防には十分配慮し、児童生徒の安全を確保することを大前提とし、なるべく早い学校再開を目指してまいります。

ただし、これらの方針は、この先感染が拡大するなどの規制が必要な事態が生じれば、躊躇なく再度制限を強化し、市民の皆さんの健康を第一に考えた措置を取らせていただきます。

新型コロナウイルスは、瞬く間に世界を覆い、私たちの営みをスト

ップさせてしまいました。これほどのスケールとスピードで全世界に影響を及ぼすことを、誰も想像できなかつたと思います。

今、私たちは、「新型コロナ」という、百年後の世界史の教科書にも載るような大事件に遭遇しており、これまでの習慣や社会常識を根本から見直すことを迫られています。働き方も、価値観も、社会システムも大きく変わることでしょう。

自粛緩和により、ちょっと気を許せば、第二波・第三波の感染拡大が懸念されます。私たちは長期戦を覚悟しなければなりません。収束に向けた道筋は、着実に前進していますが、さらにもうしばらく、努力が必要です。皆様のご協力をぜひともお願いします。私たちは、コロナを大切な人にうつさない、自らも感染しないため、「新しい生活様式」を1日も早く創り上げていかなければなりません。

コロナ危機が長引けば、経営そのものがひっ迫する事業者が増えてしまいます。非正規雇用・フリーランスの皆さんへの経済的しわ寄せも待ったなしの状況です。コロナが終息したときに、経済活動も市民生活もV字回復できるよう、島田市は、市独自の財政調整基金を財源に、市民の命と暮らしを守るために、これからも先手先手の対策をとってまいります。

「自粛疲れ」で、市民の皆さんはストレスが溜まっていることと思

います。長く学校に通えない子どもたちも大きな不安を抱えています。こんな今だからこそ、私たちには、互いを思いやるやさしさが重要です。緊急事態宣言のその先にある出口に向かって前進するため、この1か月の過ごし方がとても重要だということをご理解ください。

新型コロナの撲滅と命の救済のため、市民の皆さん、今こそ結束してまいりましょう。